

新着！ 海の生き物レター

水族館
03.12.18
Vol.13-No.3



繁殖シーズン！

ペンギン水槽



親鳥から餌をもらうアデリーペンギンのヒナ(ふ化後8日齢)

ペンギン水槽では、11月よりジェンツーペンギン、アデリーペンギン、ヒゲペンギンのヒナがふ化しました。この時期は飼育係も大忙し。ふ化直前の卵を回収し、ふ卵器に入れ、ヒナがかえったら餌を与えて世話をするので、これは、ふ化直後の小さいヒナが親鳥におしつぶされないよう、危険を避けるために行っています。ヒナの餌は1日5回、魚やオキアミ、ビタミン剤などをミキサーですりつぶして与えます。4日程育ててしっかりしてきたら親鳥のもとに戻します。その後ヒナは親鳥から口移して餌をもらって成長していきます。



育すう器のジェンツーペンギンのヒナ(ふ化後3日齢)
室温は32～35℃程度で、ヒナの様子を見ながら調整しています。



餌はチューブをつけたシリンジ(注射器)で与えます。
写真はヒゲペンギンのヒナ(ふ化後2日齢)。